

議会運営委員会行政視察報告書

- (実施時期) 令和元年10月29日～令和元年10月31日、
(視察都市) 所沢市、会津若松市
(視察内容) 所沢市：議会改革の取り組みについて
会津若松市：議会改革について

[所沢市]

1. 議会改革の取り組みについて

(1) 大学研究機関との連携について

① パートナーシップ協定

所沢市には早稲田大学のキャンパスがあり、議会改革の一環として政策立案機能を高めるため、平成28年に「連携協力に関するパートナーシップ協定」を締結している。

② インターンシップ受け入れ

学生の職場体験の場を確保するとともに、所沢市議会の議員活動への理解を深めていただくことを目的に、平成30年から3月と9月、年2回、早稲田大学の学生のインターンシップ受け入れを行っており、本会議の見学や学生から一般質問的な内容を出してもらい、質問は議員が作成するが、執行部とのヒアリングに学生も同席するなどインターンシッププログラムを実施している。

(2) 専門的知見の活用について

① 専門的知見の活用

平成23年に地方自治法が改正され議員定数の法定上限が撤廃され、平成24年に所沢市議会議員定数のあり方に関する審議会を設置し、法政大学の廣瀬教授を会長として、さまざまな議論をしていただいた。その他にも4年前の改選後に議会基本条例制定後の見直しを行い、特別委員会を設置したが、その際にも廣瀬教授に全国の条例の見直し状況や条例改正等の動向について調査を委託し、いろいろと御意見をいただいた。また最近では、平成29年には公共施設の総合管理の現状と課題等について、総務常任委員会において株式会社日本政策投資銀行に調査委託を行うなど、専門的知見を活用しながら委員会で調査研究し提言を行っている。

(3) 政策討論会について

① 政策討論会

平成24年から実施しており、参加人数は第1回目が138名だったのが、ここ数年は50名を超えているぐらいである。最近では、委員会による政策討論会が増えてきており、委員会でさまざまなテーマを設定し、視察を行ったり調査研究を重ねていくが、その過程の中で政策討論会を実施することがあり、例えば平成29年には、健康福祉常任委員会が子供の貧困対策を当時の年間テーマにしていたので、委員会で子供

の貧困対策について政策討論会を実施した。最近の政策討論会では、前半に基調講演を行い、後半で来場された方から御意見をいただいている。政策討論会を経て、いろんな課題が出てくるが、そうした課題については、政策形成サイクルに反映させて提言につなげるなど、やりっぱなしで終わらないよう取り組んでいる。

(4) 意見交換会（みみ丸カフェ等）について

①議会のマスコットキャラクター

議会では、みみ丸というマスコットキャラクターをつくり、議会だよりなど様々な場面で、このみみ丸が登場している。名前の由来は、議員数が33名でみみ、よく聞くための耳というふたつの意味があり、名前を公募したところ全国から200から300の応募があり、その中からみみ丸に決まった。キャラクターデザインは、当時の美術大学を卒業した議会事務局職員が作成した。

②みみ丸カフェ

平成28年と平成30年、2回実施した。所沢市議会では、議会報告会や政策討論会といった市民との意見交換の場を持っているが、どうしても来場される方が議会ウォッチャーのような専門的な方が多く、みみ丸カフェの場合は10代から40代の方から無作為抽出によって、主に現役の方を対象に参加者を募集している。みみ丸カフェでは、早稲田大学の扇原教授にファシリテーターをしてもらい学生にも手伝ってもらうなど、大学と連携しがなら、お揃いのポロシャツなどを着用、お菓子を食べたりお茶を飲みながら、参加者から意見の出やすい環境を作りながら、各テーブルごとに例えば所沢市の良さについて自由な意見を出し合い、所沢市の良さについて再確認するなどして開催している。

委員からは無作為抽出による参加者募集について、質問が出された。



所沢市議会での視察の様子①



所沢市議会での視察の様子②

[会津若松市]

1. 議会運営全般について

(1) 議会運営について

①議員定数

28名（平成30年9月に条例を改正し定数削減）

②常任委員会

総務委員会、文教厚生委員会、産業経済委員会、建設委員会、予算決算委員会

③他の委員会等

議会運営委員会、各派代表者会議

政策討論会（分科会、議会制度検討委員会を含む）

(2) 予算決算審査について

①予算審査決算審査準備会

3月の予算審査の際には1月から2月中旬の間に、9月の決算審査の際には7月から8月頃に、予算審査決算審査準備会を開催している。

例えば予算審査の場合、9月に行った決算審査での議論や政策討論会における政策研究の視点、市民意見交換会で得られた市民意見などを踏まえて、分科会ごとに問題認識を持ち審査における論点の抽出を行っている。よく事前審査にあたらぬかと言われるが、議案配付前に準備会を開催しており、予算書や決算書をみてしているわけではないので事前審査にはあたらぬということであった。

②予算決算委員会

平成25年に常任委員会とし、定数は議長を除く27名で分科会方式で審査している。

審査の際には、予算審査決算審査準備会で抽出した論点については全員で関連質疑を行う。説明員退席後に、論点ごとに争点を確認し、争点があれば、争点ごとに委員間討議を行っている。

2. 議会改革について

(1) 政策形成サイクルについて

①問題発見

サイクルの起点となる市民意見交換会を開催し、広聴広報委員会で聴取した多数の意見を整理するとともに問題点を見つける。

②課題設定

広報広聴委員会で見つけた問題点を一般化、抽象化することで課題を設定し、各派代表者会議にて課題の設定について決定する。

③問題分析

設定した課題については分野ごとに政策討論会の各分科会（常任委員会）へ割振りをして、意見交換会で報告、意見を聴取しながら、政策討論会において優先順位、重要性、緊急性等の分析を行う。各分科会では、学識経験者を招聘した勉強会、先進地への視察、委員間での自主研究・討議などさまざまな手法で調査研究している。

④政策立案

政策討論会の各分科会において、調査研究、分析を踏まえて、意見交換会やパブリックコメントを行い、条例制定、議案修正、政策提言など政策をつくる。

⑤政策決定

本会議、委員会で決定。

⑥政策執行

執行機関の施行。

⑦政策評価

予算・決算審査による政策の事前・事後の評価。

一般質問による執行状況等の監視・評価。

意見交換会による議会の評価。

委員からは定数の削減や常任委員会での委員間討議について、質問が出された。



会津若松市議会での視察の様子①



会津若松市議会での視察の様子②